

令和4年度築地まちづくりにおける  
東京都指定旧跡及び同範囲内の埋蔵文化財の予備調査  
第2回予備調査履行状況（2022.9.30現在）

調査期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

第2回予備調査履行期間：令和4年7月1日～9月30日

調査地点：中央区築地5丁目2地内

調査対象面積：6,100㎡

調査対象内訳：A区1,000㎡、①区1,100㎡、②区200㎡、③区300㎡、④区400㎡、⑤区200㎡、⑥区300㎡、⑦-1区300㎡、⑦-2区1,100㎡、⑧区600㎡、⑨区300㎡、⑩区300㎡

第2回予備調査終了範囲：②区200㎡、③区300㎡、④区400㎡、⑥区300㎡、⑦-1区300㎡、⑦-2区1,100㎡、⑧区600㎡、⑨区300㎡、⑩区300㎡

遺跡の概要

都旧跡浴恩園跡は、中央区築地五丁目、築地市場跡地内に位置する。遺跡の標高は、海拔約3mを測る。

浴恩園は、江戸中期、陸奥白河藩主、老中・松平定信が、寛政4年（1792）に一橋家から譲り受けた約2万坪の屋敷地を「浴恩園」と命名して整備した庭園である。庭園は、南西に位置する浜御殿（現・浜離宮恩賜庭園）や楽寿園（現・芝離宮恩賜庭園）等と同様に汐入式の池泉回遊式庭園であった。庭園は、天保11年（1840）の「浴恩園真寫之図」等の絵図によると、汐入の春風の池と秋風の池の周囲に定信の生活の場であった千秋館、菊・梅・桃・粟草・菜園等さまざまな草木の植栽、築山等が配されていた。明治維新後には、周辺の大木屋敷地とともに海軍省用地となり、海軍兵学校、海軍病院等の施設が設置された。大正12年（1923）の関東大震災では、海軍省の諸施設は甚大な被害を受けた。こうした中で、日本橋にあった魚市場が壊滅的被害を受けたことから、水運の利便性と敷地の広さから築地に移転することとなり、昭和10年（1935）に築地市場が開設された。

築地市場跡地内では、これまで都市計画道路環状2号線整備に伴い発掘調査が行われ、近世では尾張徳川家築地屋敷（蔵屋敷）の石垣等の護岸施設、近代では明治時代中頃の土留め施設や杭列等が検出されている。

調査の概要

（1）現場調査

①区

土壌汚染対策の準備工後、6月27日より掘削を開始し、現在も調査中である。

近世の遺構1基（5号遺構）、近世以降の遺構1基（7号遺構）、近代の遺構5基（1～4・6号遺構）とそれに伴う遺物が検出された。遺構は、地表下約0.5m～1mの深さから近代のコンクリート床版・排水溝が検出され、その直下から近世～近代の遺構が検出された。50mを超える大型の落ち込み（7号遺構）は、覆土にはレンガ・瓦・礫等が大量に含まれ、絵図・地図・築地市場開設時の資料から池状遺構と推測される。

○検出遺構

近世：礎石1基（5号遺構）

近世以降：大型の落ち込み 1 基（7 号遺構）

近代：杭列 1 基（6 号遺構）、レンガ建物基礎 2 基（2 号・4 号遺構）、レンガ柵 1 基（3 号遺構）、コンクリート床版・排水溝 1 基（1 号遺構）

○出土の遺物

コンテナ 8 箱：近世・近代の陶磁器・土器・瓦 等、近代のレンガ

②区

8 月 8 日より掘削を開始し、検出された遺構を養生後、9 月 9 日に埋戻しを終了した。

調査区西側は埋設管による攪乱を受けていたが、中央部で近世以降の遺構 3 基（2・4・5 号遺構）、近代の遺構 3 基（1・3・6 号遺構）とそれに伴う遺物が検出された。遺構は、地表下約 1m の深さから検出された。石積み遺構（5 号遺構）は、石積みの形状から水路状遺構と推測される。鉄管（6 号遺構）には「明治四一」銘が見られ、過去の調査事例から近代水道に関連するものと推測される。

○検出の遺構

近世以降：切石 1 基（2 号遺構）、石材集中 1 基（4 号遺構）、石積み遺構 1 基（5 号遺構）

近代：レンガ建物基礎（甕を伴う）1 基（1 号遺構）、瓦溜まり 1 基（3 号遺構）、鉄管（6 号遺構）

○出土遺物

コンテナ 15 箱、近世・近代の陶磁器・土器・瓦 等、近代のレンガ

③区

土壤汚染対策の準備工後、7 月 21 日より掘削を開始し、8 月 19 日に埋戻しを終了した。

地表下 2m（一部で 2.5m）まで掘削したが、築地市場の水産物部仲卸売場棟の建物基礎による攪乱を大きく受けており、遺構は検出されなかった。攪乱土中には A 区の石積み遺構の裏込めに使用されていたものと同様の「土丹」が含まれていた。

○検出遺構

なし

○出土遺物

コンテナ 1 箱、近世・近代の陶磁器・土器 等

④区

土壤汚染対策の準備工後、7 月 14 日より掘削を開始し、検出された遺構を養生後、8 月 19 日に埋戻しを終了した。

調査区南側は築地市場の水産物部仲卸売場棟の建物基礎による攪乱を受けていたが、北半部では近世以降の遺構 3 基（1～3 号遺構）とそれに伴う遺物が検出された。遺構は、地表下約 1m の深さから検出された。大型の落ち込み（1 号遺構）は、①区と同様に覆土にはレンガ・瓦・礫等が大量に含まれ、絵図・地図・築地市場開設時の資料から池状遺構と推測される。

○検出遺構

近世以降：大型の落ち込み 1 基（1 号遺構）、土坑 2 基（2・3 号遺構）

○出土遺物

コンテナ 5 箱、近世・近代の陶磁器・土器・瓦 等、近代のレンガ

⑤区

⑧区の調査状況等から建物基礎による攪乱が推測されることから、協議の上調査を実施しなかった。

⑥区

8月24日より掘削を開始し、9月16日に埋戻しを終了した。

地表下2m（一部で2.5m）まで掘削したが、築地市場の水産物部仲卸売場棟の建物基礎による攪乱を大きく受けており、遺構は検出されなかった。

○検出遺構

なし

○出土遺物

なし

⑦区

⑦-1区は8月3日より掘削を開始、続けて⑦-2区は8月19日より掘削を開始し、9月30日に⑦区全体の埋戻しを終了した。

地表下2m（一部で2.5m）まで掘削したが、築地市場の水産物部仲卸売場棟の建物基礎による攪乱を大きく受けており、遺構は検出されなかった。

○検出遺構

なし

○出土遺物

コンテナ3箱、近世・近代の陶磁器・土器・瓦等

⑧区

7月25日より掘削を開始し、8月22日に埋戻しを終了した。

地表下2m（一部で2.5m）まで掘削したが、築地市場の水産物部仲卸売場棟の建物基礎による攪乱を大きく受けており、遺構は検出されなかった。

地表下約2.5mでは時期不明の板材が検出された。

○検出遺構

なし

○出土遺物

時期不明の板材（残置）

⑨区

土壌汚染対策の準備工後、9月5日より掘削を開始し、9月30日に調査を終了した。今後、検出された遺構を養生後、埋戻しを行う。

調査区内は築地市場の建物基礎により地表下約1mまで攪乱を受けていたが、その建物基礎下から近代の遺構6基(1～6号遺構)とそれに伴う遺物が検出された。遺構は地表下約1mの深さから検出された。石材集中(6号遺構)は、⑩区で検出された石積み遺構(1号遺構)と連続すると推測されるが、建物基礎があり上層のみの確認に留まった。

○検出遺構

近代：コンクリート床版・排水溝1基(1号遺構)、レンガ建物基礎2基(2・5号遺構)、レンガ柵2基(3・4号遺構)、石材集中1基(6号遺構)

○出土遺物

コンテナ10箱、近世・近代の陶磁器・土器・瓦等、近代のレンガ

⑩区

7月28日より掘削を開始し、検出された遺構を養生後、9月6日に埋戻しを終了した。

調査区南側は建物基礎による攪乱を受けていたが、中央部で近代の遺構2基(1・2号遺構)とそれに伴う遺物が検出された。遺構は、地表下約1.2～1.5mから検出された。1号遺構は石垣状の石積み溝であり、絵図・地図・築地市場開設時資料から浴恩園の池につながる水路状遺構と推測される。石積みの裏込めにはレンガが含まれていることから時期を近代とした。

○検出遺構

近代：石積み遺構1基(1号遺構)、石材集中(2号遺構)

○出土遺物

コンテナ5箱、近世・近代の陶磁器・土器・瓦等、近代のレンガ・ガラス

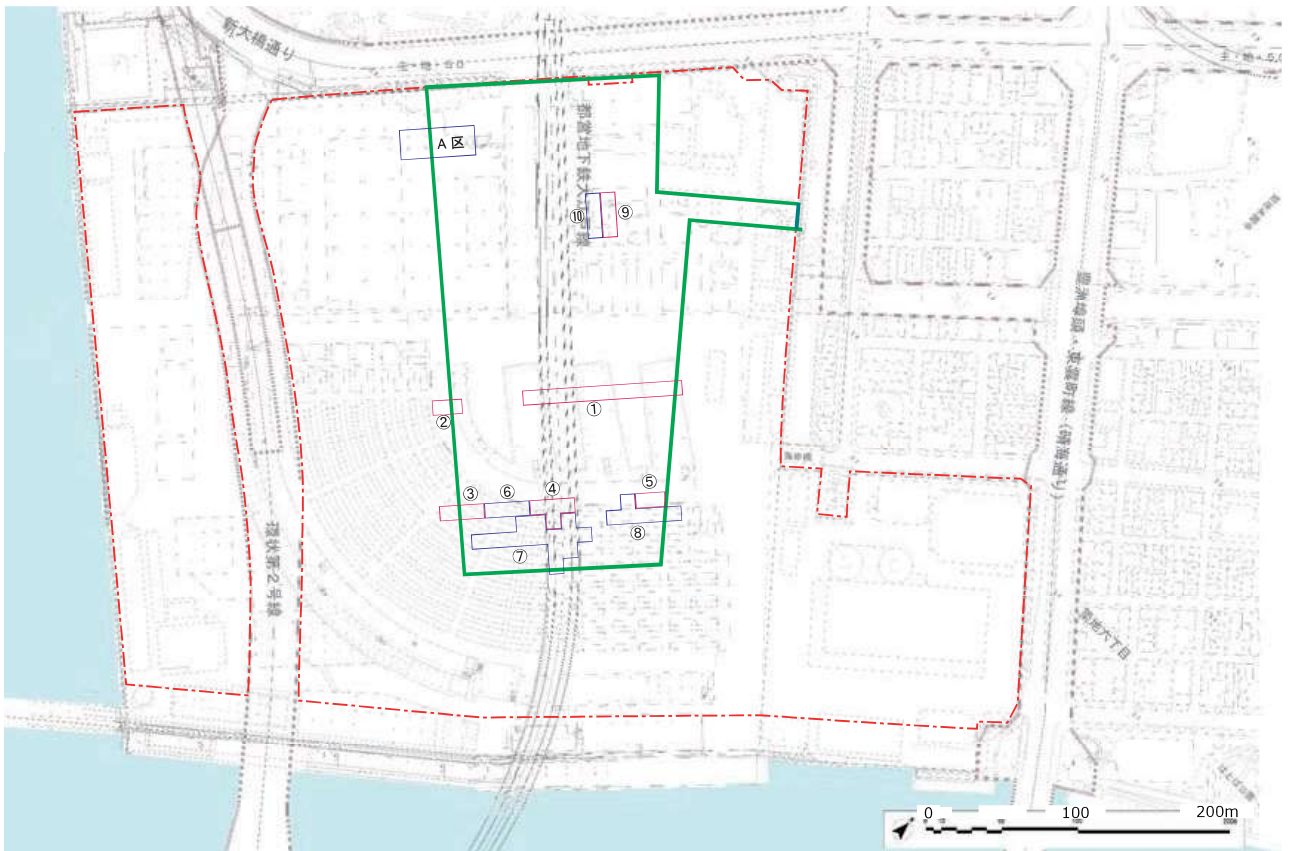
(2) 整理調査

現場調査と並行して、出土遺物の洗浄・注記作業と現場で測量したデータの基礎整理作業を行った。

令和4年度築地まちづくりにおける東京都指定旧跡及び同範囲内の埋蔵文化財の予備調査 調査工程表

	令和4年度												進捗率 (%)	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
現場調査														
A区	■	■	■											100 100
①区				■	■	■	■	■						100 90
②区								■	■	■				100 100
③区				■	■	■								100 100
④区				■	■	■								100 100
⑤区								■	■	■				100 0
⑥区								■	■	■				100 100
⑦-1区				■	■	■								100 100
⑦-2区								■	■	■	■			100 100
⑧区				■	■	■	■							100 100
⑨区								■	■	■				100 90
⑩区								■	■	■				100 100
復旧工								■	■	■				100 0
整理調査	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	100 25

■ 当初予定 ■ 実績

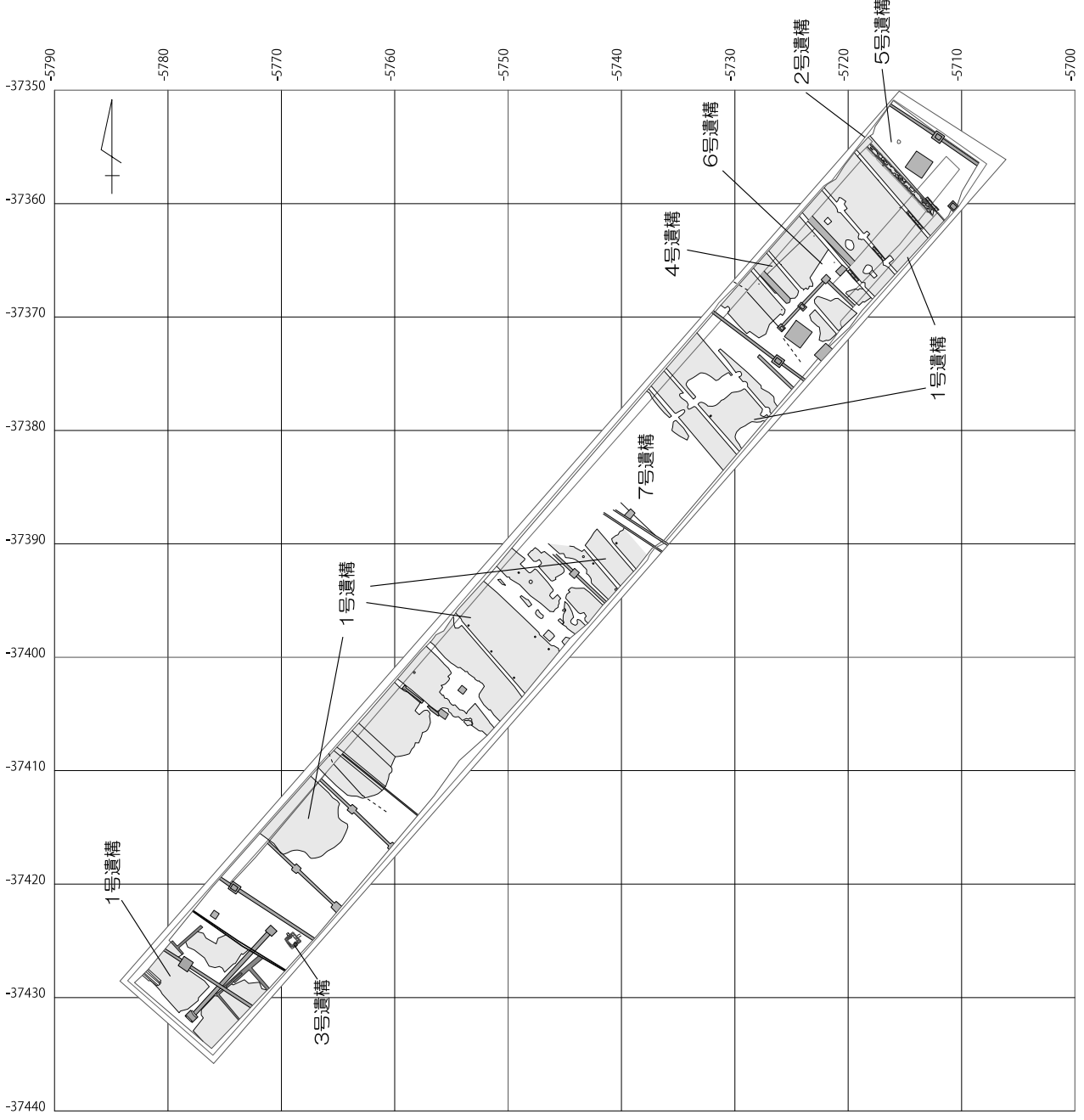


この地図は、国土地理院長の承認（平24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（3都市基文第983号）して作成したものである。また、道路網図を使用（（承認番号）3都市基街都第277号、令和4年3月3日）している。無断複製を禁ずる。

- 調査対象区域
- 調査掘削対象範囲（汚染土壌検出区域）
- 調査掘削対象範囲（汚染土壌不検出区域）

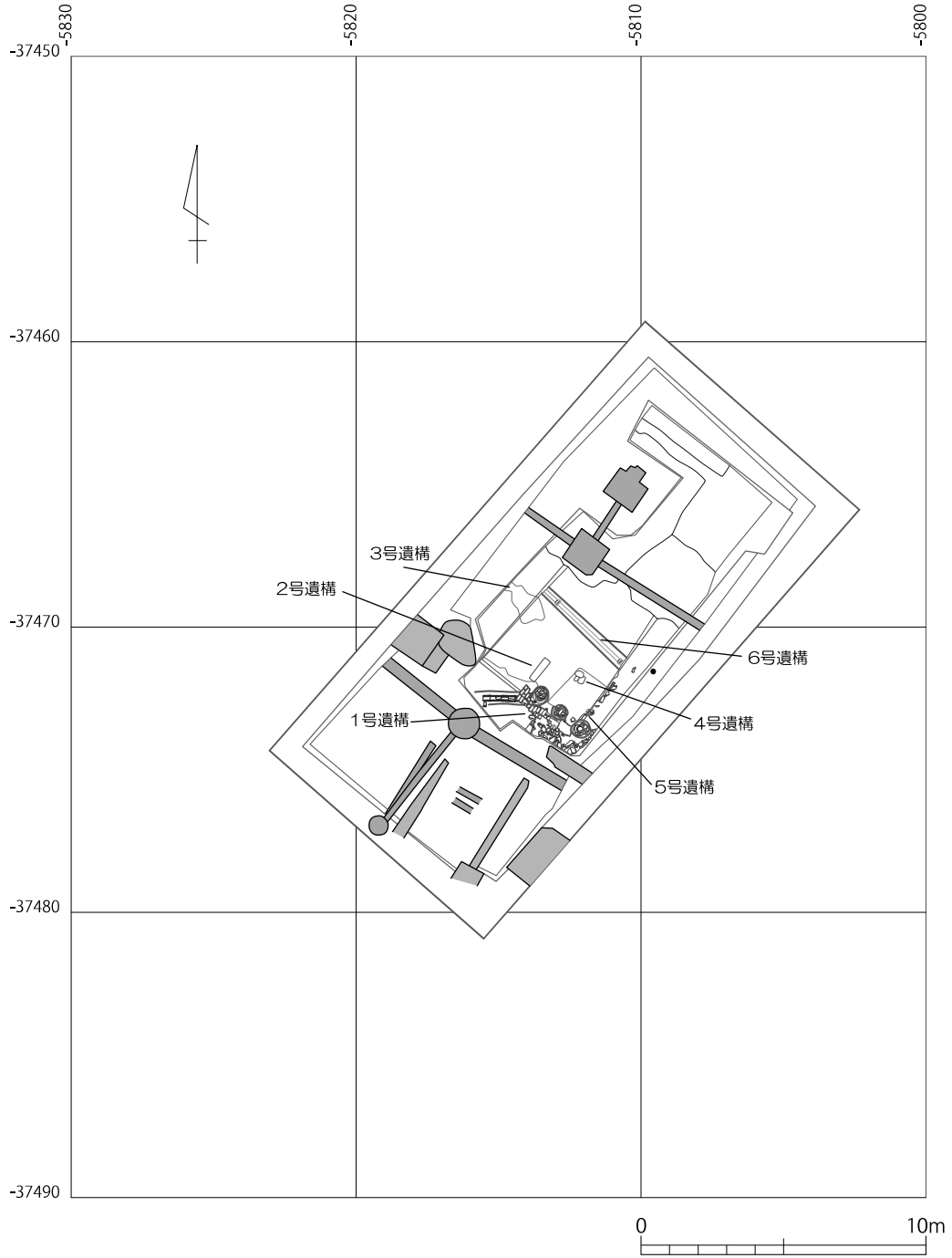
第1図 東京都指定旧跡浴恩園跡予備調査対象区域と調査区

①区



第2図 旧跡浴恩園跡予備調査・①区平面図

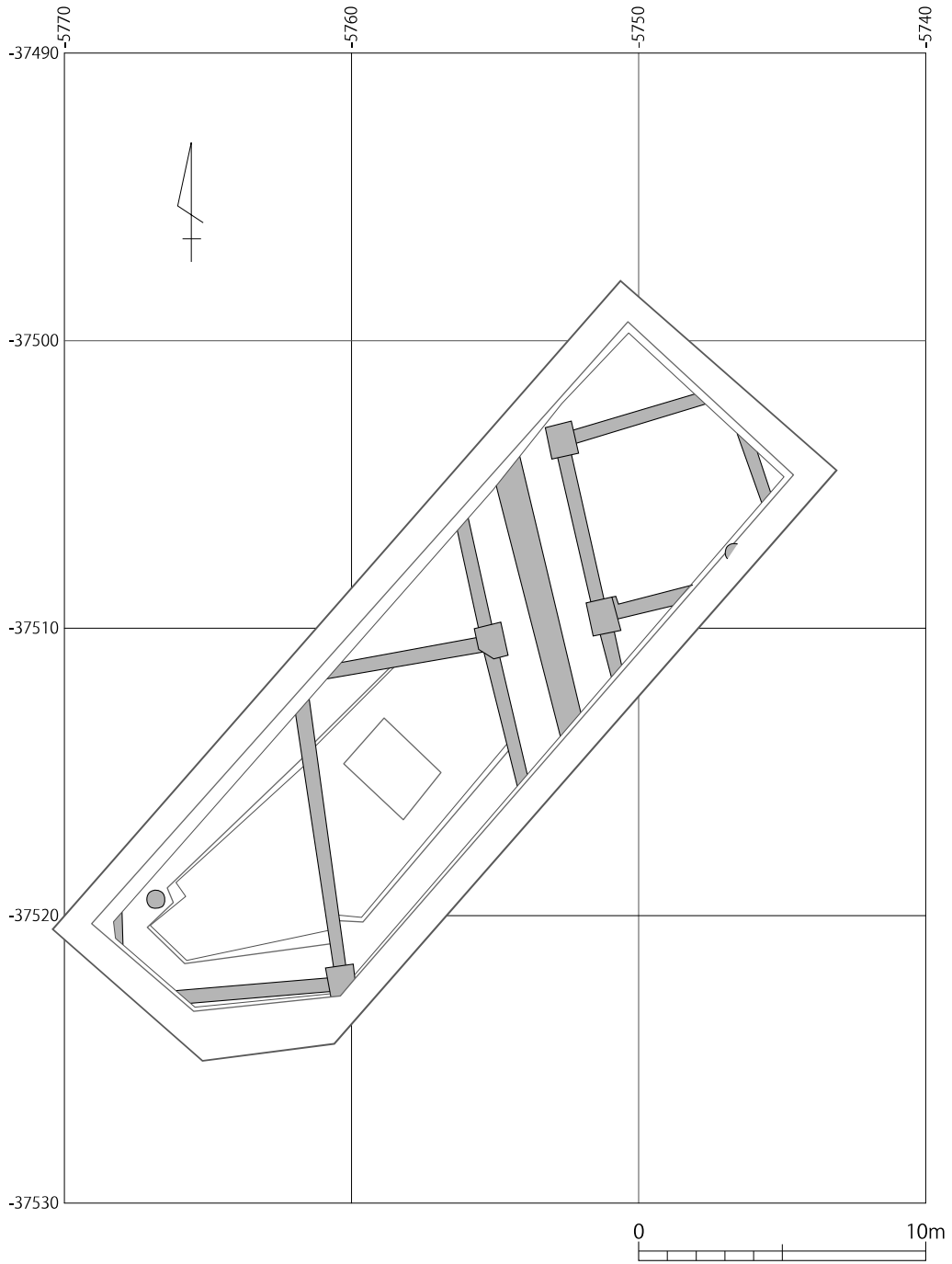
②区



第3図 旧跡浴恩園跡予備調査・②区平面図

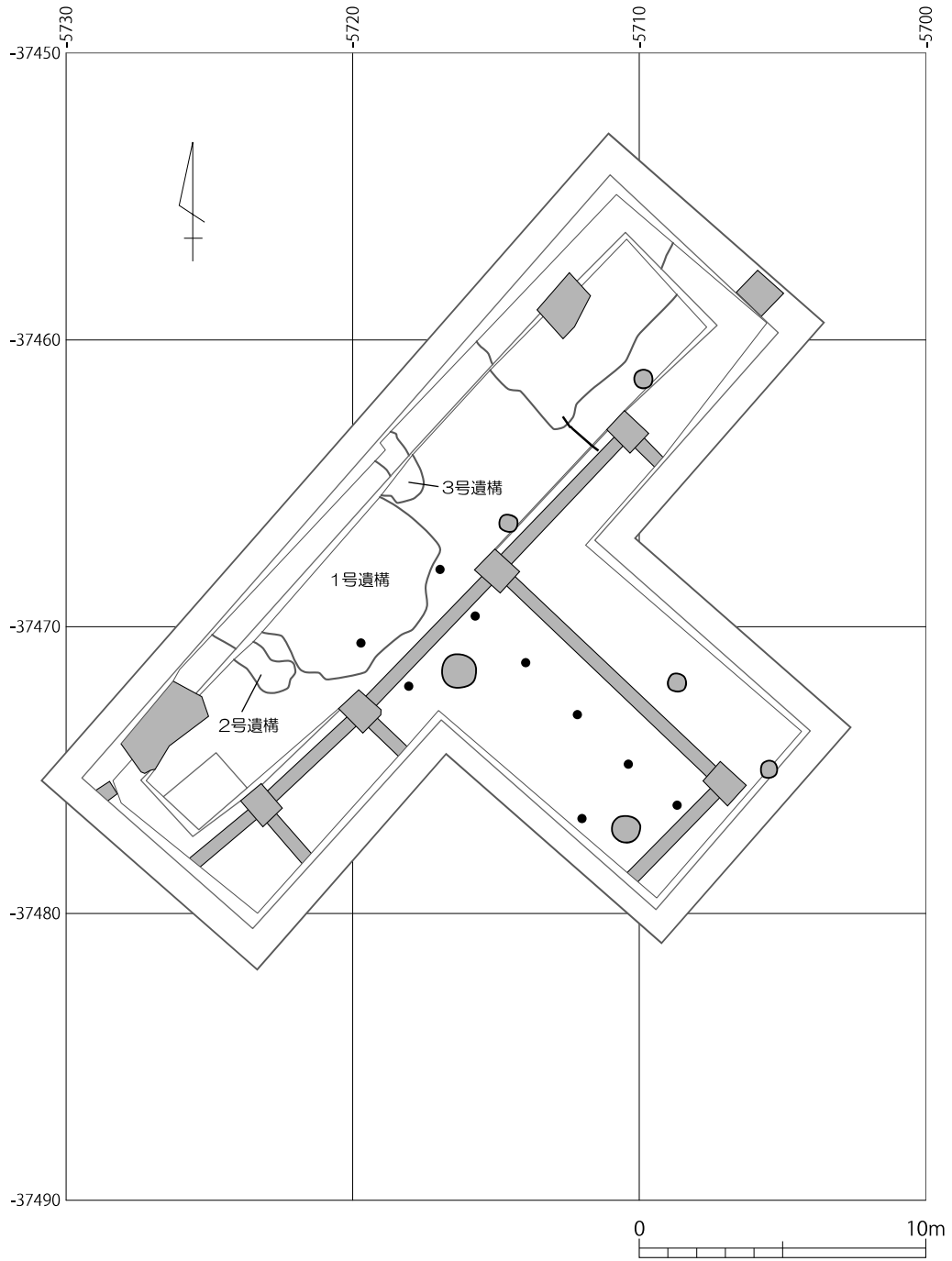


③区

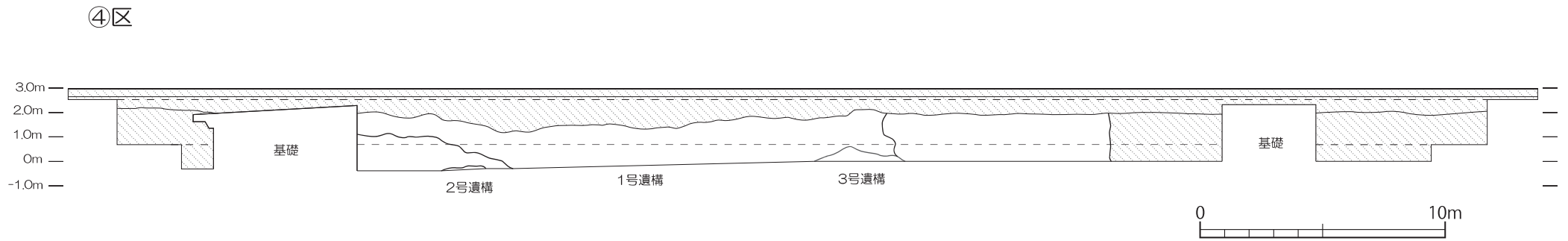


第4図 旧跡浴恩園跡予備調査・③区平面図

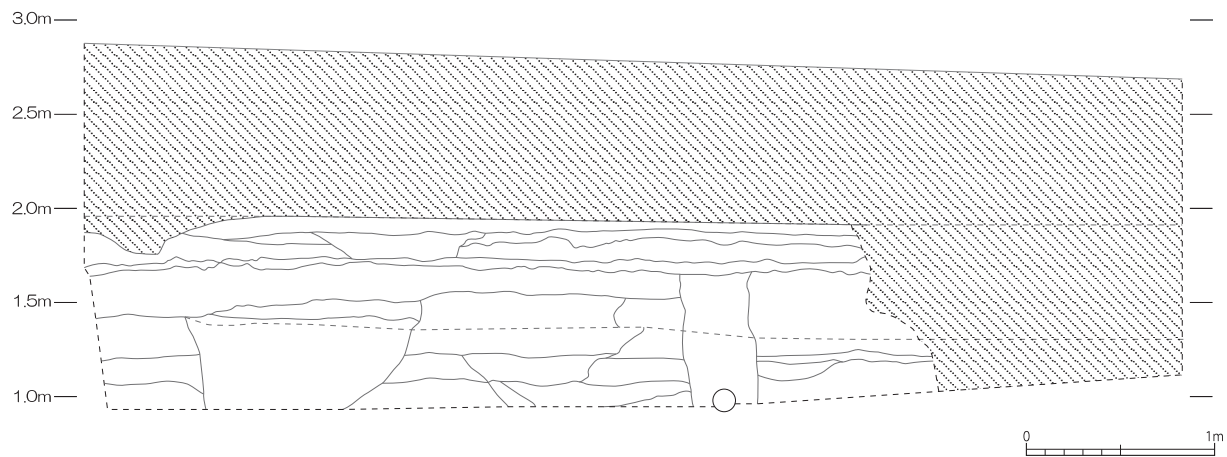
④区



第5図 旧跡浴恩園跡予備調査・④区平面図



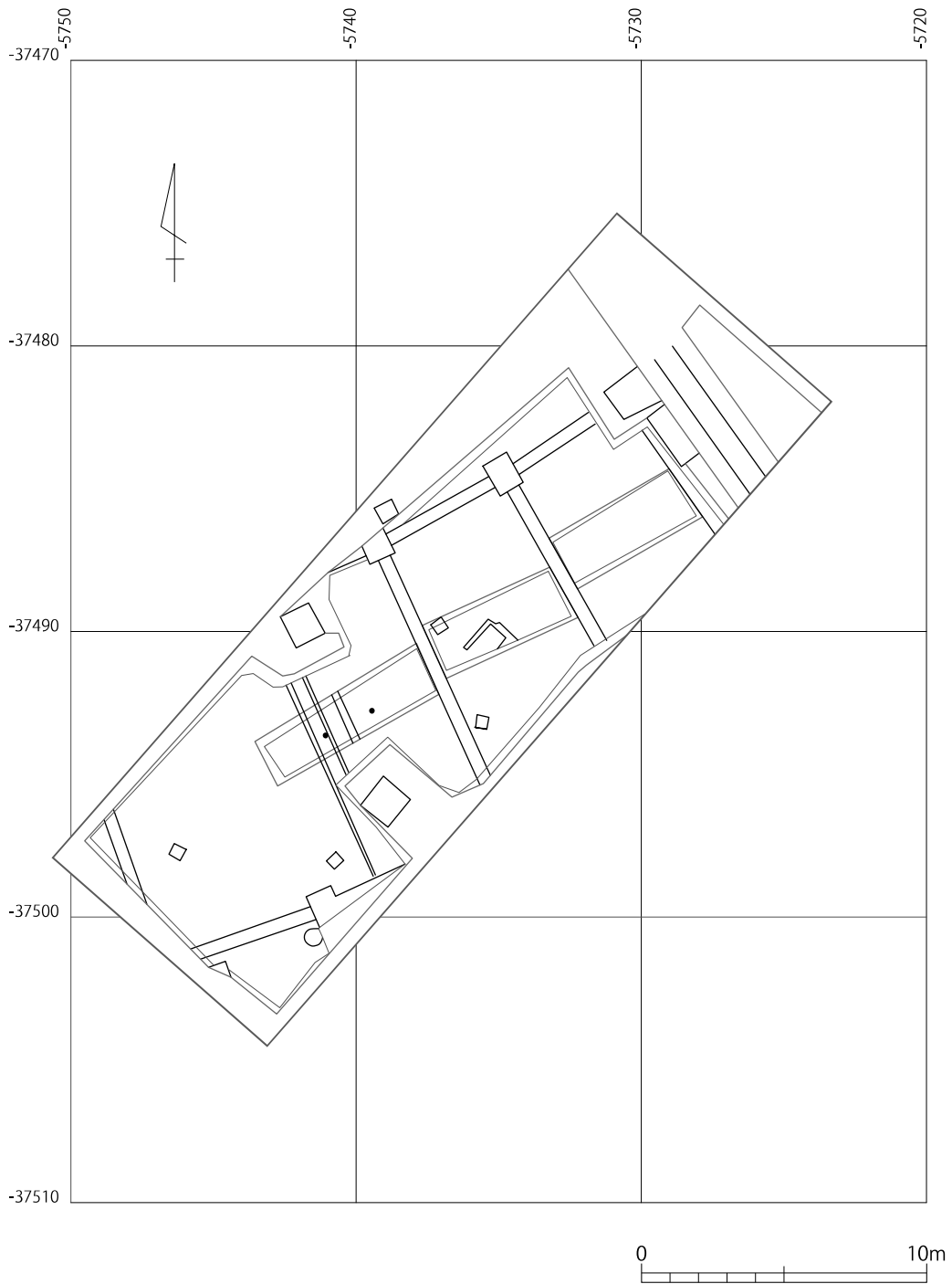
②区



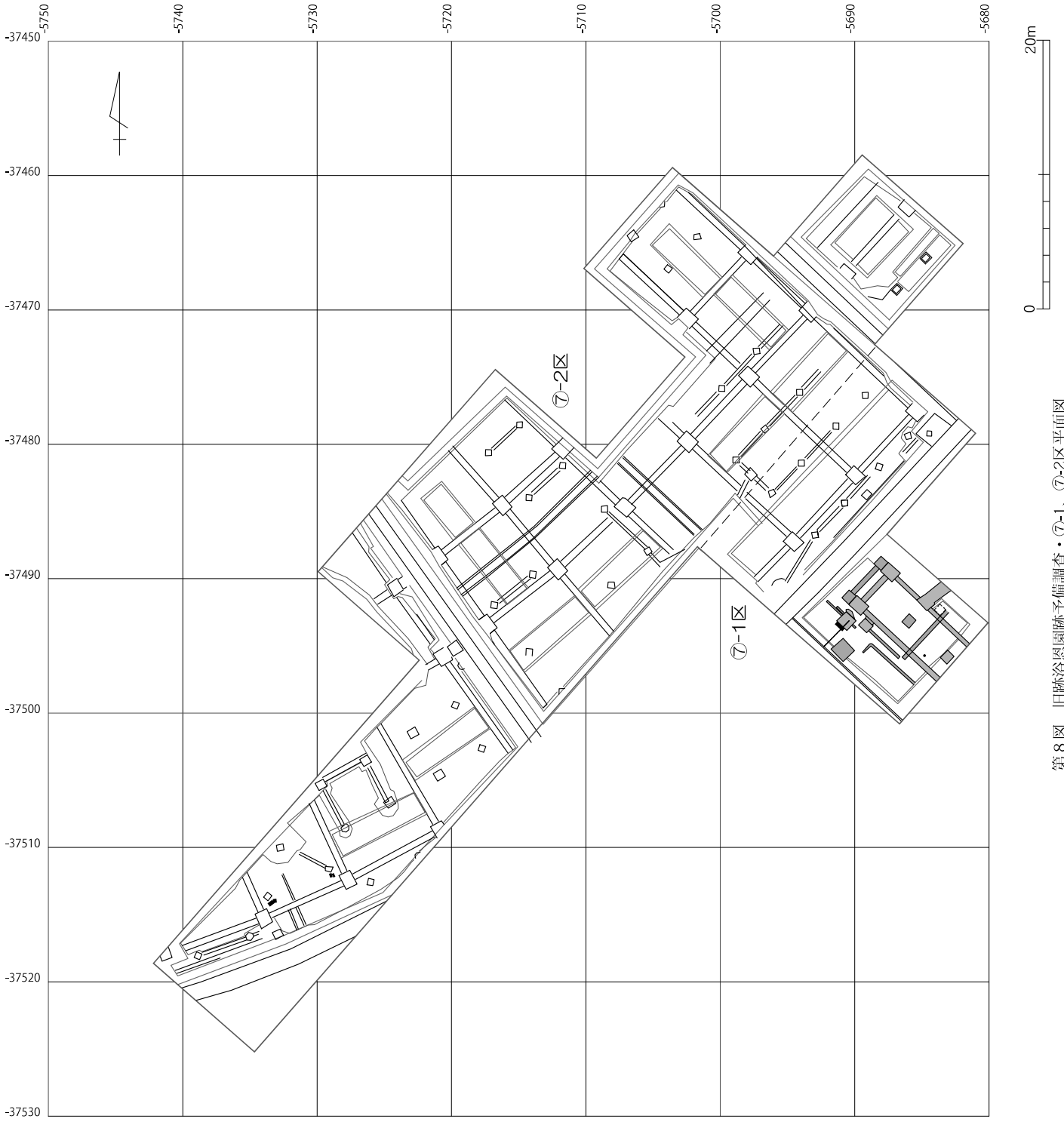
※網掛け部分は、表土・盛土・攪乱  
白抜き部分は、近世・近代の土層

第6図 旧跡浴恩園跡予備調査・②区、④区土層断面図

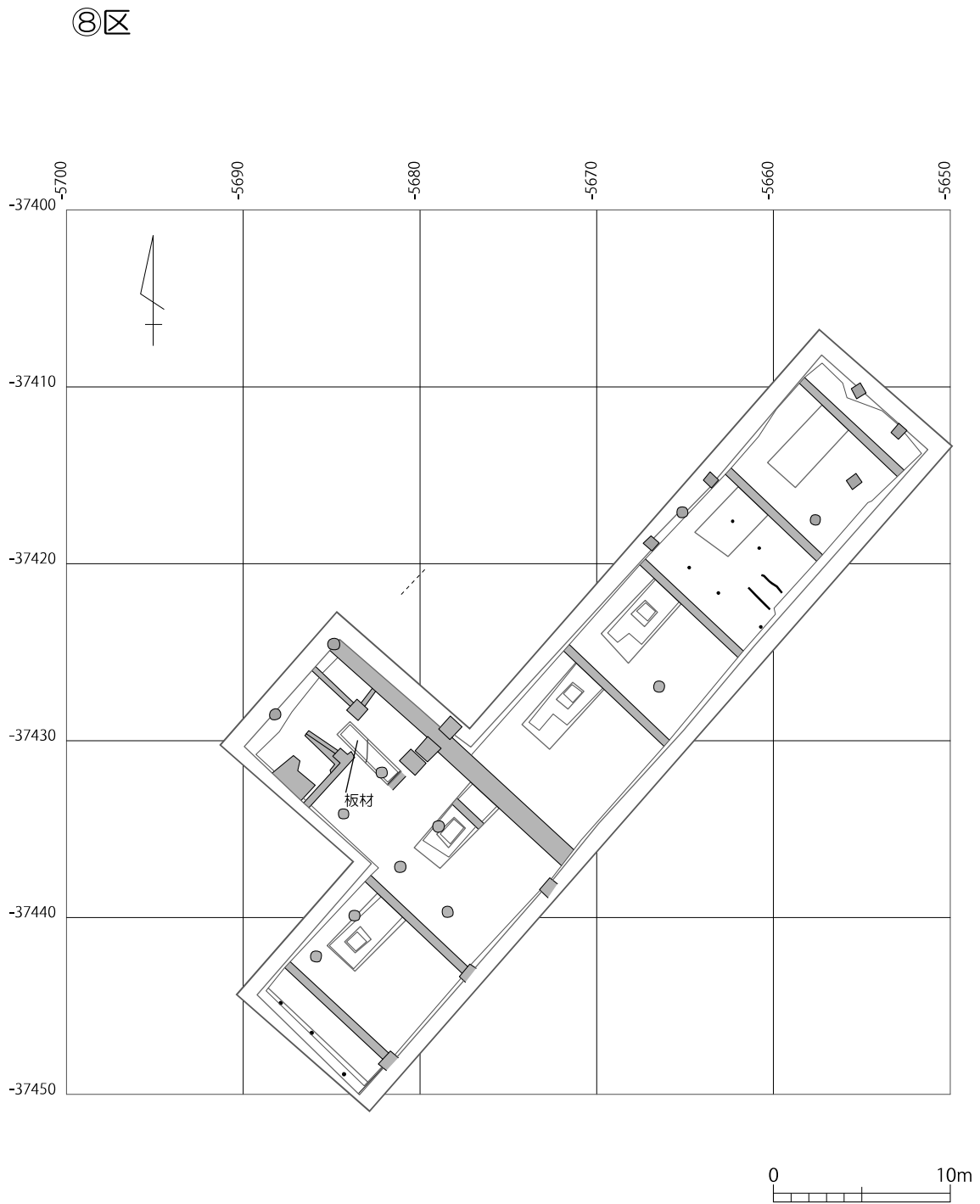
⑥



第7図 旧跡浴恩園跡予備調査・⑥平面図

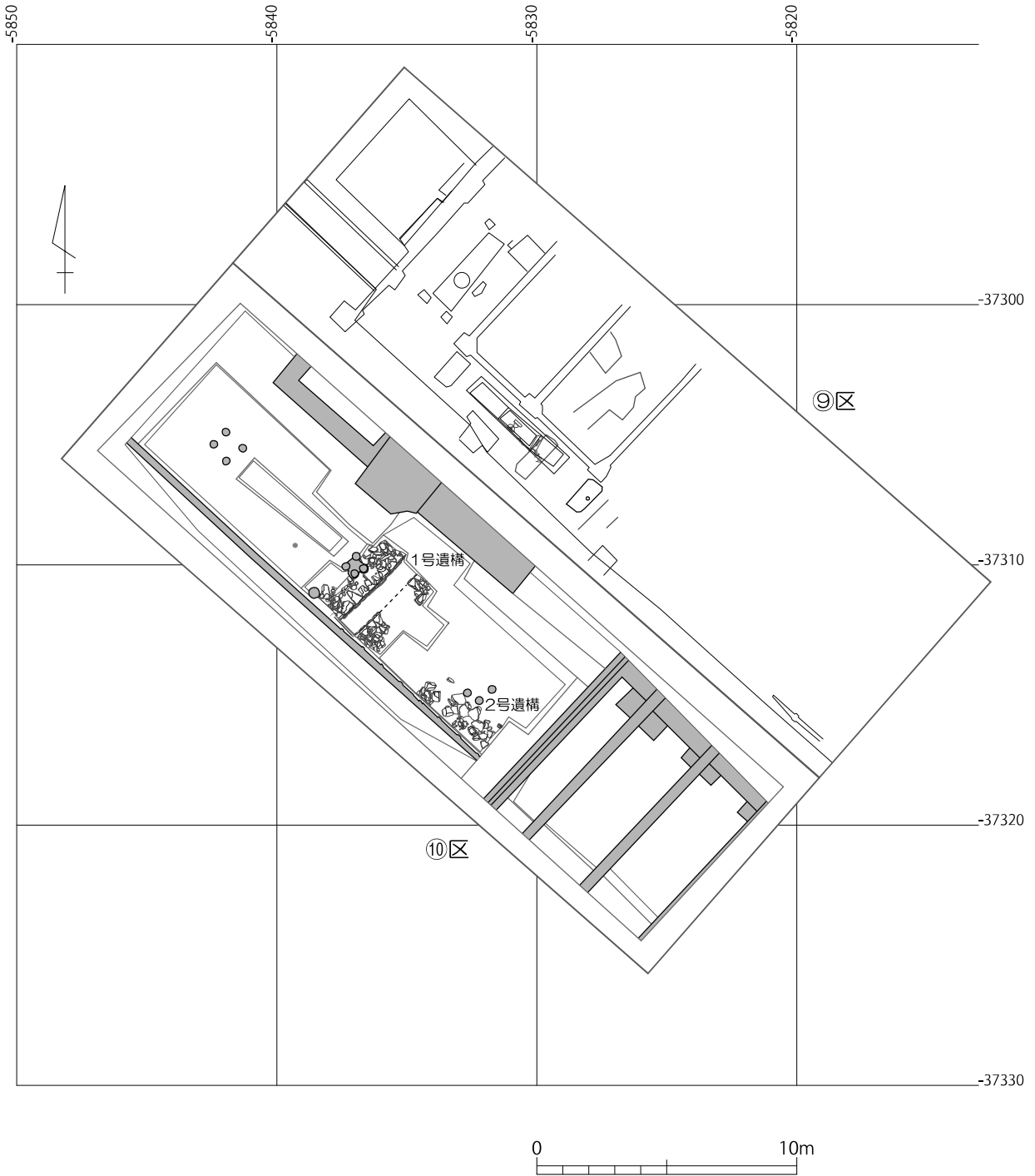


第8図 旧跡浴恩園跡予備調査・㉞-1、㉞-2区平面図



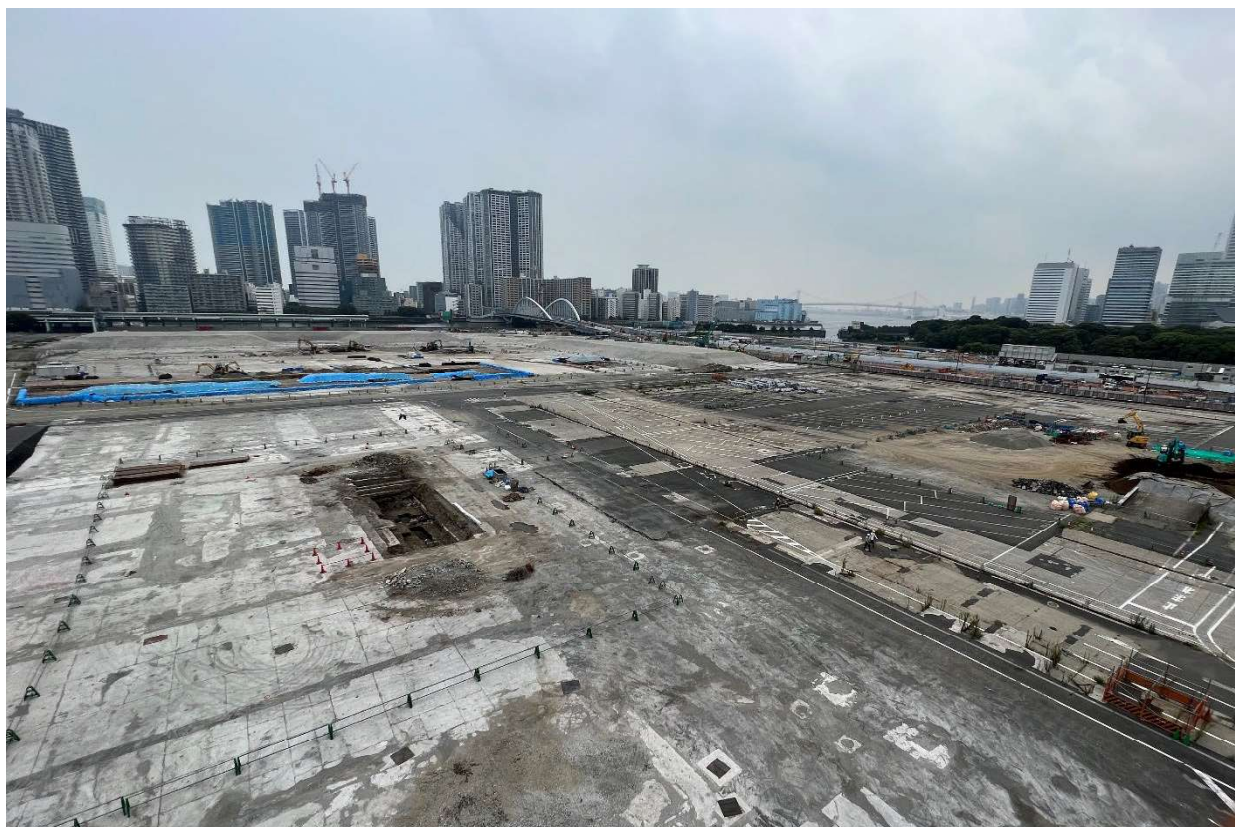
第9图 旧跡浴恩園跡予備調査・㊸区平面図

㊟・㊟区

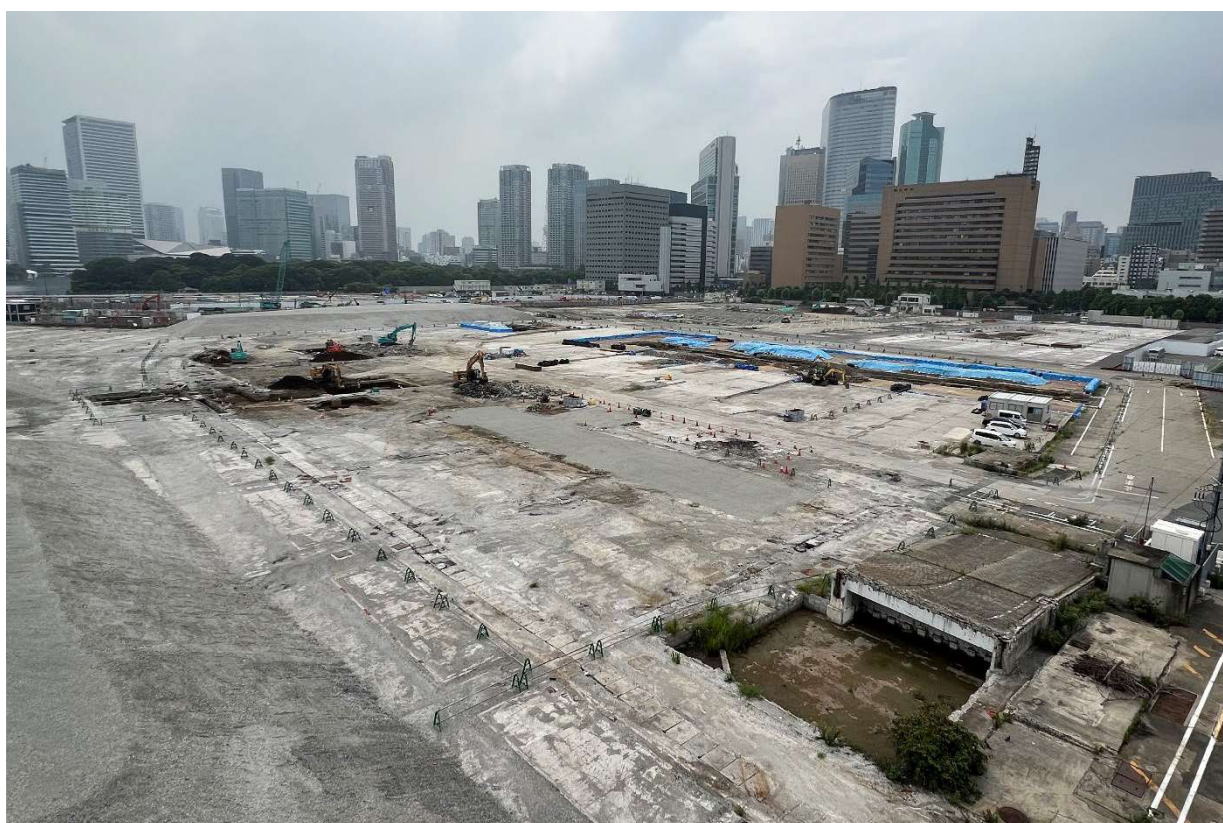


第10図 旧跡浴恩園跡予備調査・㊟、㊟区平面図

# 写真図版



PI.1 旧跡浴恩園跡予備調査地区全景（北から）



PI.2 旧跡浴恩園跡予備調査地区全景（南東から）





PI.3 ①区・調査区全景(西から)



PI.4 ①区・1号遺構(南東から)



PI.5 ①区・第2号遺構(北西から)



PI.6 ①区・東側近世遺構確認面検出状況(南東から)



PI.7 ①区・5号遺構(北から)



PI.8 ①区・7号遺構覆土(東から)



PI.9 ①区・西側近世遺構確認面検出状況(西から)



PI.10 ①区・西側近世遺構確認面検出状況(南から)



PI.11 ①区・3号遺構(南から)



PI.12 ①区・ボーリング調査(北西から)



PI.13 ②区・調査区全景(東から)



PI.14 ②区・1号遺構(東から)



PI.15 ②区・6号遺構(南東から)



PI.16 ②区6号遺構、鉄管銘(東から)



PI.17 ②区・5号遺構(北東から)



PI.18 ②区・西壁土層断面(東から)



PI.19 ③区・1m掘削状況(東から)



PI.20 ③区 1.5m掘削状況(西から)



PI.21 ④区・調査区全景(北から)



PI.22 ④区・調査区全景(西から)



PI.23 ④区・1号(奥)、2号遺構(手前)(西から)



PI.24 ④区・1号(奥)、3号遺構(手前)(南東から)



PI.25 ④区・北壁土層断面(南から)



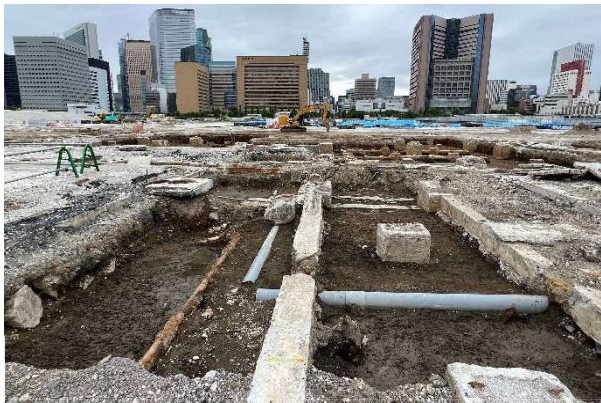
PI.26 ④区・4号遺構(南東から)



PI.27 ⑥区・1m掘削状況(北東から)



PI.28 ⑥区・2m掘削状況(東から)



PI.29 ⑦-1区・1m掘削状況号(南から)



PI.30 ⑦-2区・1m掘削状況(南東から)



PI.31 ⑦-2区・1m掘削状況(西から)



PI.32 ⑦-2区・2m掘削状況(東から)



PI.33 ⑧区・1m掘削状況(南西から)



PI.34 ⑧区・2m掘削状況(北東から)



PI.35 ㊸区・2.5m掘削状況(南西から)



PI.36 ㊸区・2.5m掘削板材検出状況(北から)



PI.37 ㊸区・調査区全景(南から)



PI.38 ㊸区・遺構確認状況(南西から)



PI.39 ㊸区・2号遺構(南西から)



PI.40 ㊸区・3号(左)、4号遺構(右)(西から)



PI.41 ㊸区・2号遺構(北から)



PI.42 ㊸区・6号遺構(南から)



PI.43 ㊤区全景(西から)



PI.44 ㊤区・1号(右)、2号遺構(左)(東から)



PI.45 ㊤区・1号遺構(北西から)



PI.46 ㊤区・1号遺構(北東から)



PI.47 ㊤区・1号遺構(南東から)



PI.48 ㊤区・2号遺構(北から)



PI.49 ㊤区・ボーリング調査(北東から)



PI.50 ㊤区・教育庁有識者現地視察(南東から)